

平成30年度 授業改善推進プラン 低学年

	平成29年度授業改善プランの検証と調査結果の分析 (○はおおむねできていること、△は課題があること)	授業改善策 (○よいところを伸ばすための方策、△課題を解決するための方策)
国 語	<p>○書かれている事柄の順序や場面の様子に気付いて読んだり、進んで文を書いたりすることができる。</p> <p>○読書をすることに抵抗が低く、楽しみながら進んで本を読むことができる。</p> <p>○主語、述語の関係を意識して、自分の考えを分かりやすく伝えることができる。</p> <p>△助詞や句読点、かぎを文章の中で正しく使うことに課題がある。</p> <p>△ひらがなやカタカナの筆順や形、既習漢字の習熟がさらに必要である。</p> <p>△原稿用紙への書き方が定着していない。</p>	<p>○担任による読み聞かせを通してたくさんの文章に触れさせたり、学習の中に動作化などを取り入れたりして、楽しみながら文脈理解を支援する活動を行う。</p> <p>○読書をする目的を明確にして、確保する時間をさらに設ける。</p> <p>○表現力を向上させるために、音読練習や話す機会を作り、言語活動の充実を図る。</p> <p>△文章の中での使われ方に着目させ、文章を書く際に助詞や句読点、かぎを意識できるようにする。</p> <p>△タブレットを使用して筆順や形をチェックしたり、間違えやすい箇所を繰り返し書いたりして、定着を図る。さらに作文の中で活用できるようにする。</p> <p>△「かくってたのしいね」や原稿用紙に書く活動を恒常的に取り入れ、書き方だけでなく、感想や理由の書き方を知ることができるようにする。</p>
算 数	<p>○加法・減法の筆算練習に、意欲的に取り組むことができる。</p> <p>○具体物を用いた活動などを通して、長さや体積などの単位と測定について理解できている。</p> <p>△計算の正確さに課題がある。</p> <p>△文章問題を正しく読み取って、立式することに課題がある。</p> <p>△時計が示す時刻や時間が分からない。</p>	<p>○継続して意欲的に取り組むことができるよう、課題設定の工夫をする。</p> <p>○体験的な活動を通して量感覚、数感覚が身に付くように、数値だけでなく実際の長さや量を感じる活動を意図的に設ける。</p> <p>△ステップ学習の時間に計算練習を計画的に設け、習熟を図る。</p> <p>△問題文の中からキーワードを見付け、ブロックや図を使って思考させてから立式させる。</p> <p>△生活の中で、時刻と時間を使う機会を増やし、復習問題を繰り返し解くことで理解を深める。</p>
生 活	<p>○動物や植物などの世話を通して、自然に興味をもって取り組むことができる。</p> <p>△植物や動物の変化や成長の様子について自分なりに表現することに課題が残る。</p>	<p>○学年園で植物を育て、成長していく植物の変化を日常的に観察させる。</p> <p>△観察したものを記録する際に、多面的にとらえることができるようにキーワードを掲示する。</p>
音 楽	<p>○のびのびと歌うことや鍵盤ハーモニカを演奏することができる。</p> <p>△けんぱんハーモニカの指使いが課題である。</p> <p>△拍子をとる感覚に課題がある。</p>	<p>○様々な歌や楽器にふれる機会をより多くもち、歌や楽器に親しみをもたせる。</p> <p>△大黒板を使用し、具体的に教える。全体指導の後に個別に確認する。</p> <p>△ボディパーカッションなど動作化を取り入れながら、リズム感覚を養う。</p>
図 工	<p>○つくり出す喜びを味わいながら、造形活動を楽しんでいる。</p> <p>△表現したいことに合わせて、はさみ・のり・絵の具・クレパスなど用具を使うことが難しい。</p>	<p>○児童が興味・関心をもつことができる題材を選定する。</p> <p>△用具の使い方の基本を丁寧に確認し、日常的にはさみやのり、クレパスを使った作業を意図的に多く設定する。</p>
体 育	<p>○仲間と協力して走ることや、ゲームなどに興味をもって取り組むことができる。</p> <p>△握力・持久力・調整力に課題が見られる。</p>	<p>○運動が苦手な児童も楽しんで取り組むことができるよう、ルールを工夫する。</p> <p>△固定遊具を活用し、握力を高める活動を増やしたり、なわとびをしたりして、一定時間動く活動を設定する。</p>